

## 信越トレイル未開通区間整備及び自然環境調査事業

### 取り組みに至る背景・事業の目的

長野・新潟の両県にまたがる関田山脈の尾根沿いに、動植物との出会いや、豊かな自然を肌で感じながらゆったりと歩くための総延長 80km におよぶ「ロングトレイル」を整備するとともに、その維持・管理を行ないながら、より多くの人が里山の美しいブナ林や自然、地域の文化・歴史に触れることができるようにする。

### 事業内容

平成 19 年度は、翌年の全線開通に向け、30km の未整備区間のルートや動植物の調査を実施。ルート整備には、信濃と越後を結ぶかつての峠道をなるべく生かすとともに、今後の活用方法を総合的に勘案しながら進めるため、山仕事に長く携わるなど、森と深くかかわってこられた地元の皆さんにご指導いただいたほか、動植物の生息状況調査を行い関田山脈ならではの貴重な動植物等のデータベースを作成した。ほとんど手付かずとなっている山を切り開きながらの作業は、動植物の生態に配慮し手作業で行われ、平成 19 年度は延べ 311 人、80km の全線の整備完了までには延べ 2,000 人を超えるボランティアが参加した。



### 事業効果

- 豊かな自然の宝庫であり、地域の人々の暮らしの財産である里山が、トレッキングやエコツーリズムを求める人々に対する貴重な観光資源に育ちつつある（利用者数 H18:5,000 人、H19:15,000 人）。
- 斑尾高原や戸狩にトレッキングエリアの整備が進み、また、新潟県側でもかつての峠道（古道）を復元する活動が行われるなど、新潟県側を含むルート沿線の市町村や公共的団体の整備への参加や活用が広がりつつあり、全線開通により、トレイル整備の先駆的な存在として全国からますます注目されると思われる。さらに、長野・新潟の県境に位置しており、両県を結ぶ大きな成長が見込める観光資源として期待される。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

利用者の立場からは安全で楽しいトレッキングを楽しむための環境整備（トレイルまでのアクセスやトイレの問題等）、広域的な利活用や管理運営（保全）の仕組みづくりなど、「信越トレイルを地域の貴重な財産と認識し、協力しながら守りそだてていく」ためにどうすべきか、信越トレイルの真価が問われるのは実はこれからである。

しかし、ブナの美しい森、神秘的な湖沼や湿原、そして素晴らしい眺望等、信越トレイルを訪れるすべての者を惹きつける不思議な魅力を秘めている。信越トレイルは「登山」とは異なる、日本の森・里山を楽しむ新たな活動の提言であり、広く定着するまではしばらくの時間はかかると思われるが、新たな北信州活性化のための活力源として、さらなる飛躍が期待される。

#### 【選定のポイント】

2,000 人を超えるボランティアにより、80km を整備した着眼点、実行力は、モデル性や協働性が高い。新たな観光資源としての可能性も期待できる。

団体名	NPO法人信越トレイルクラブ	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先	飯山市大字照岡1571-15	事業費	3,377,880円
	TEL: 0269-69-2888	支援金額	2,480,000円
	<a href="http://www.s-trail.net/">http://www.s-trail.net/</a>		